

校長室から
(R元年度)

ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 28

令和元年9月3日(火)発行

みなさんに贈る詩

楽しかった夏休みが終わり、学校生活が始まりました。先週で短縮授業も終わり、今日から午後授業がある平常授業となります。生活のリズムは夏休み型から学校型に戻りましたか？

学校生活がまた始まる時は、楽しみな気持ちとちょっと憂うつな気持ちになることがありますね。それは、学校がたくさんの人とかかわる場所であり、自分自身を見つめる場所でもあるからだと思います。少し元気がほしいと思ったときのために、ある国語の先生が作った詞を贈ります。

「新しい自分になろう」

友だちが悲しんでいるときにそっと寄り添い、
友だちが喜んでいるとき一緒に喜び自分になろう。
人のいやなところばかりを見てしまう自分と別れ、
よいところを見つめる、新しい自分になろう。
あの人は変わっているよね、と遠ざけてしまう自分と別れ、
個性あるよね、と受け入れ声をかける、新しい自分になろう。
いやだなと思っても、つい、ついていく自分と別れて、
自分をしっかり見つめ、断わる勇気を持つ新しい自分になろう。
いやなこと、つらいことがあると人のせいにする自分と別れ、
自分で乗り越えようとする、新しい自分になろう。
先生や親に叱られても、自分を大切に思っているから叱ってくれると、
「ありがとう」を言う新しい自分になろう。
努力を怠っている自分と別れて、
努力の尊さに気づく自分をめざす、新しい自分になろう。
自分はダメな人間だと思ってしまう自分と別れ、
自分には可能性があると思える新しい自分になろう。

人とうまくいかずに悩むこと、頑張っても結果が出せず落ち込むこと、思い通りにならずにいらだつことなど、学校生活にはいろいろなことがあると思います。でも、たくさんの経験を通してみなさんは強く、優しく、たくましい人になっていくのです。体に気をつけて元気に過ごしましょう。

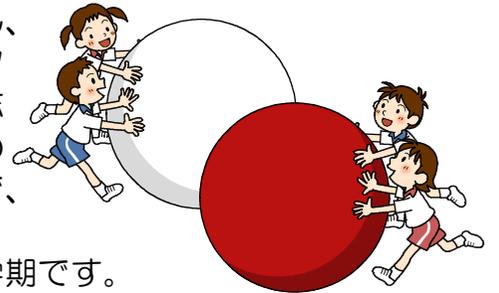
フェアプレイの気持ちで

2学期の大きな行事は、まず9月29日(日)の運動会です。また、スポーツの秋という言葉があるように、運動するにもちょうど良い気候になります。そこで、運動やスポーツをするときに必ず覚えてほしい最も重要な言葉があります。それは、「フェアプレイの気持ち」です。難しい言葉で言うと、「フェアプレイ精神」と言います。

これは、必ずルールは守る、審判の判定(決めたこと)に従う、対戦相手を大切に尊敬する、味方も相手も皆が楽しく運動・スポーツができるように考える、などということです。残念ながら、最近のスポーツを見ていると、サッカーの試合で、点を取られないようにゴールの前で故意に反則をする、野球では、ヒットを打たれないように体の近くにボールを投げるなど、フェアプレイとは全く違った場面を時々見ることがあります。このような危ないことをしたら、相手に大けがをさせてしまうかもしれません。これは絶対にしてはいけないことです。

「ルールを守る、他者を尊重し敬う、ひきょうな振る舞いは絶対にしない等」がフェアプレイ精神です。運動会練習はもちろん、体育の学習などの運動、また、その他のスポーツをするときも、フェアプレイというこの言葉を忘れないでください。また、体育やスポーツ以外の場面でも、このことはとても大切なことなので、よく覚えておきましょう。

2学期は、学校に来る日が多く、行事も多い学期です。いつもフェアプレイの気持ちを忘れず、よい2学期にしていきたいと思います。



みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」 ロン・クラーク 草思社

ルール23 だれであれ、仲間(なかま)はずれにしない

だれかがとなりに座(すわ)りたがったら、座らせてあげよう。きまった友だちとしか座らないのは、よくないことだ。

●きまった友だちとだけ仲良くするのではなく、クラスのみならず友だちになろう。たとえあまり好きにはなれなくても、どんな人にもやさしさと敬意(けい)をもって接(せつ)し、仲間に入れよう。